作成日：２０１２年　１月１６日
更新日：２０１４年　４月１８日

お客様各位

キヤノンＩＴソリューションズ株式会社

全銀ＴＣＰ通信プログラム
バージョン　3.05　リビジョン01　変更内容について

拝啓　貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「全銀ＴＣＰ通信プログラム」
（Ver.3.04-02→Ver.3.05-01）において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

［強化項目］

以下の機能を強化しました。

［システム全般］

◎以下の OS を動作対象から除きました。
・Windows 2000 Professional

［API 関連］

◎インストールフォルダに、Visual Basic .NET 用のサンプルプログラムを追加しました。

［保守機能関連］

◎ログ、およびトレースのファイルサイズを指定できるようにしました。

［マニュアル関連］

◎ユーザーズマニュアルを分冊化し、提供形態を変更しました。
・『全銀 TCP 通信プログラム　インストールガイド』（印刷物、PDF ファイル）
・『全銀 TCP 通信プログラム　ユーザーズマニュアル』（PDF ファイル）

［改修項目］

以下の問題点を改修しました。

［ファイル転送機能関連］

・設定、伝送ファイルともに正しいにもかかわらず、伝送ファイルの読み込みエラーになることがある。
エラーコードは「FILDFGET」。

・2 次局受信で再送要求を行うと、伝送レコード数が一致しないエラーになることがある。
エラーコードは「PRTRCTER」。

［ZGTCP ユーティリティ機能関連］

・同じアクセスポイント ID、ステーション ID に対して伝送ファイルの登録を同時に行うと、環境設定ファイルのオープン処理でエラーになることがある。

［ツール関連］

・コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。

［API 関連］

・リファレンスマニュアルで、ZGTCPAPI のイベント名に誤りがある。
＜誤＞
FtResponceRcv
＜正＞
FtResponceRecv

［その他］

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.0	Windows Vista Business Edition SP2	○	○
	Windows Vista Ultimate Edition SP2	○	○
	Windows 7 Professional Edition SP1	○	○
	Windows 7 Enterprise Edition SP1	○	○
	Windows 7 Ultimate Edition SP1	○	○

○：確認済み　－：対象外

＜前提条件＞
仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。
・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以　上